

1. 件 名：公益財団法人核物質管理センター 六ヶ所保障措置センターの
原子力事業者防災業務計画の修正の検討について

2. 日 時：令和4年10月6日 10:00～10:35

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤専門職、澤村防災専門官、本間専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

公益財団法人核物質管理センター 六ヶ所保障措置センター

安全管理課 課長代理 他1名

5. 要 旨

公益財団法人核物質管理センターから六ヶ所保障措置センターの原子力事業者防災業務計画の修正として、以下を検討しているとの説明があった(資料1)。

- ・ 設備管理関連の体制の見直し
- ・ 分析関連業務の体制の見直し
- ・ 組織名称の変更
- ・ 副原子力防災管理者の職位の見直し

原子力規制庁から、修正理由については、指揮命令系統の明確化の課題への対応ではなく、偏った業務分担への対応であると思われること、別表-4の項目の区分は従前のままが法令との並びがとれてよいこと、日本原燃株式会社への対応について業務として明確化すること、及び昨年度の訓練で課題となった日本原燃株式会社への対応についての改善は、今後の要素訓練等で検証することを伝えた。

公益財団法人核物質管理センターから、今回の指摘を踏まえて対応するとの回答があり、原子力規制庁から法令に基づき手続きを行うよう伝えた。

6. その他

配布資料：

資料1 原子力事業者防災業務計画の修正について(案)

(公益財団法人核物質管理センター 六ヶ所保障措置センター)